

## 紅葉の季節になりました



校舎周辺の木々の葉も色づきはじめ、紅葉の季節になりました。緑色の葉が赤色や黄色に変化しています。さて、「葉の色が変わる」のはどのようなしくみなのでしょう。

植物が葉で光合成を行っていることはみなさん学習しています。中学生は葉緑体で行われていることまで知っています。どうして葉は緑色なのか、授業でも話したと思いますが、緑色の色素が入っているからです。さらに詳しく説明すると、葉には緑色の色素であるクロロフィルと黄色の色素であるカロテノイドなどの色素がふくまれています。実は、葉の色が変わるのは、この色素が関係しているのです。

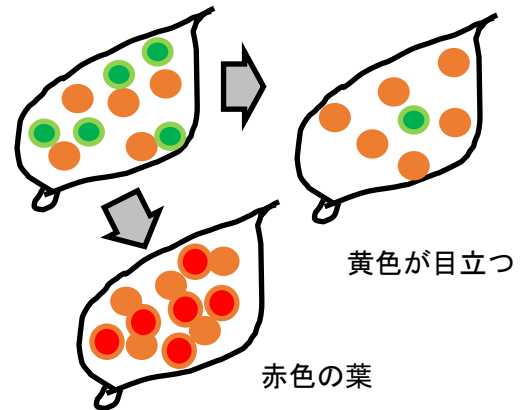
紅葉は1日の最低気温が8℃以下になると始まって、5～6℃になると、さらに紅葉が進むそうです。そして、葉が赤色や黄色になるしくみは、次のように説明されています。

### 【黄色になるしくみ】

葉の中のクロロフィルが分解され、もともとふくまれていたカロテノイドの色が目立ち、黄色の葉になる。

### 【赤色になるしくみ】

葉の中のクロロフィルが分解され、アントシアニンという赤色の色素がつくられるため、赤色の葉になる。



黄色が目立つ

赤色の葉

では、なぜクロロフィルは分解されるのでしょうか。

興味を持った人は調べてみましょう。

## 校庭の鳥(10月)

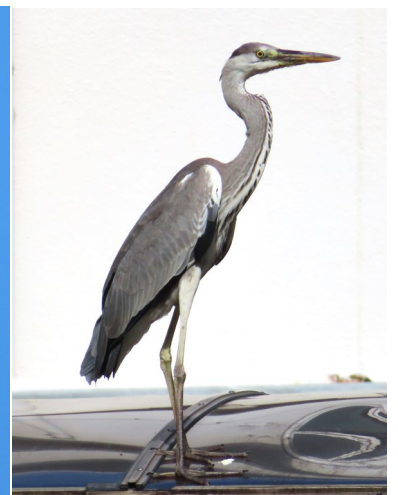


ハクセキレイ (メス)

翼に白い斑があるのが特徴。  
オスは頭が銀白色。  
顔は黒色。胸から腹にかけて赤茶色。



ジョウビタキ (メス)



今年も来ました アオサギ